

低学歴の若者を無料で支援「董雪義塾」埼玉校

# 27歳夏、「高卒」に合格

## 元派遣「公務員を目指す」

ネオンが輝くJR川口駅東口。喧騒をよそに、駅近くの複合施設の一角で週1回、5人の若者が机に向かう。低学

歴ゆえに経済的に不安定な若者らに、元教員が無料で勉強を教える「董雪義塾」の埼玉校だ。元派遣社員の男性は、この夏、高校卒業程度認定試験に合格。不安定な生活を抜け出す一歩を踏み出した。現在は公務員を目指してさらに勉強を続けている。

毎週金曜の夜、元派遣社員の「誰々には負けないとか、競争じゃない。目指すところはみんな一つ」。董雪義塾の行方正太郎代表(49)は語りかかる。行方さんは養護学校の児童養護施設の出身者に勉強を教えてきた経験から、中卒や高校中退の若者が不安定な職に就き、苦労する姿を多く見てきた。

「教育の差が経済格差を生むのなら、格差を埋めるのも教育のはずだ」。そう考え、08年夏、JR代々木駅(東京都渋谷区)近くに董雪義塾を開いた。高校卒業程度の資格を取って進学や就職など「次

で製品テストなどの仕事をしていたが、昨年12月上旬、派遣元から「1月15日まで」と契約終了を告げられた。「いつかは」と覚悟はしていたが、途方に暮れた。

有休を消化しようと、1月、鈍行で旅に出た。安くする漫画喫茶の個室に泊まつた。より料金の安いオープン席ではパソコンを前に突っ伏して寝る男性や頭をたれて目を閉じる年配の女性がいた。

「疲れてるんだろうな。こうなっちゃダメだ」

埼玉校は今年3月に開校した。同校に通う上尾市の元派遣社員村田隆さん(27)は母子家庭で育った。勉強はあまり好きではなく、中学卒業後は大工の見習いに。1年で辞め旅行後、友人に教えてもらつて董雪義塾に申し込み、経済事情や年齢から選ばれた5人に入ることができた。

「景気に左右され、働いても将来が開けない生活はもう嫌だ」と、今は思う。「仕事を持つてやってみせる」と思えるようになった。4月から半年、機械加工技術を学ぶ職業訓練校との「ダブルスクール」だったが、派遣生活から抜け出すチャンスだと思ふ。商員の採用試験まで頑張らないと苦にならなかつた。

### 中卒、仕事転々

埼玉校は今年3月に開校した。同校に通う上尾市の元派遣社員村田隆さん(27)は母子家庭で育った。勉強はあまり好きではなく、中学卒業後は大工の見習いに。1年で辞め旅行後、友人に教えてもらつて董雪義塾に申し込み、経済事情や年齢から選ばれた5人に入ることができた。

「景気に左右され、働いても将来が開けない生活はもう嫌だ」と、今は思う。「仕事を持つてやってみせる」と思えるようになつた。4月、8科目の合格通知が手元に届いた。「これで次に進めよう」としたが、英単語帳はまるぼるにはまだ通過点。来年の公

川口で18日に説明会を行。また、生活保護家庭の中学生を対象とした公立高校卒業程度認定試験を受ける「生徒」の追加募集を行う。また、生活保護家庭の中学生を対象とした公立高校卒業対策のクラスと、母子家庭の母親または子を対象とした公立看護専門学校受験対策クラスを新設する。

追加募集と新クラスの説明会を、埼玉と東京の「董雪義塾」で開く。18日午後6時から、キユボ・ラ本館棟M4階のかわぐち市民バートナーステーションで。20日午後1時から、私立の通信制高校、代々木高等学校(東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目)で。問い合わせは行方さん(070-6664-6023)。

毎週欠かさず董雪義塾に通い、認定試験の過去問を解いていた。英単語帳はまるぼるにはまだ通过点。来年の公

董雪義塾埼玉校で勉強する  
村田さん(手前) 川口市

